

温故創新 豊中らしさを創る Vol.20

駅前・街角での3秒間の出会いを、無限大の関係に！日々の活動などはホームページで。

<http://matsuoka-akimichi.net>

無所属 29歳

豊中市議会議員



編集・発行 豊中から日本を動かす会

まつおかあきみち

松岡信道と、もっと豊中市！

将来志向の政治へ。

今の政治は現在志向で、今年の黒字をどう確保するかを最優先に考えています。このままでは、いつまでたっても財政再建は進まず、豊中市はよくなりません。

夏休みの宿題を先送りすると、夏休みの終わりにしんどい思いをします。夏休みの宿題を早く終わらせると、残りの休みが楽しくなります。今も昔も先生は、毎日コンスタントに宿題をするように指導されます。

借金も同様で、先送りすれば、利息の負担は重くのしかかり、繰り上げて返済すれば、楽になります。そのどちらでなくとも、今年返済すべき借金は返済しなければいけません。そのために、たとえ今年が赤字になったとしても、それは決して責められることではないと思います。

良い借金、悪い借金

借金が悪いわけではありません。たとえば、借金をして道路をつくりませんが、この道路は将来の市民も利用するわけですから、借金をして将来にわたって返済していくべきものです。

一方、今年退職する職員に退職金を支払うために、借金するのは正しいでしょうか。企業であれば退職手当引当金をあてて貯金し、退職金を支払います。

将来へのシワ寄せ

豊中市は退職金のために20億円を借金しているため、利息2億円を将来の市民が負担することになります。

豊中市には減債基金(借金を返済するための貯金)が21億円あります。

22年度は借換えを迎える借金が54億円もありますが、一円も返済しません。それどころか、減債基金の21億円のうち、16億円6千万円を繰入れて一般財源として使います。借金を返済するための貯金を違う目的に利用することは、市民のみなさんに説明できません。もし21億円を返済に使えば、33億円の借換えですむため、将来の利息負担は大きく軽減されます。

22年度予算案に反対表明

これまで積み立ててきた基金を繰入れる形で、場当たり的に予算編成されていることを指摘し、将来へのシワ寄せとなる22年度予算案に反対しました

(基金繰入についてはホームページからvol.19をご覧ください)。繰入れないと予算編成できないということであれば、16億6千万円の赤字ということになります。予算案は24対11で可決成立しましたが、私が議員になってから反対票が最も多い予算案となりました。今を黒字にするためではなく、将来志向の財政運営が求められます。

出馬断念と会派解散のお詫び

財政を再建するという将来志向の政治を目指し、選挙で民意を問う覚悟で反対したため、予算案に会派で一致した行動ができず、会派を解散することになりました。

争点は歳出を見直すための財政再建と、歳入を確保するための豊中のブランドづくりを掲げましたが、空港の存廃ばかりが取り上げられ、本当に豊中市が抱えている課題を争点化することができず、断念することになりました。

私は副委員長として尽力し、空港活性化の本会議決議に至りました。しかしながら、存廃議論は市議会で行われておらず、たとえ豊中市が廃港を求めなくても、廃港になる可能性から目をそむけず、議論するべきだと考えています。報道記者に真意が伝えられず、お騒がせしましたことを市民の皆様にご心よりお詫び申し上げます。これについて詳細をホームページで掲載していますので、ご覧ください。

後援会を立ち上げて、ともに歩みます。

今回のような失敗を繰り返さないように、事前にみなさんのご意見をいただきながら、活動していきたいと考えております。こんな若輩者の私ですが、これからもみなさんに育てていただければ幸いです、よろしくお願い致します。

略歴

- 市立 しんでん幼稚園
- 市立 南丘小学校
- 市立 第九中学校
- 府立 北野高等学校
- 同志社大学法学部政治学科
- 池田市長インターンシップ修了
- 茨木市議インターンシップ修了
- 箕面市公募委員(公共下水道)
- 大阪府信連職員(JAバンク大阪)



現在 無所属 22年5月1日現在

豊中市議会議員(最年少29才)

- 総務常任委員
- 空港問題特別委員会副委員長
- クリーンランド議会議員
- 豊中ラグビースクール (ボランティア)
- 豊中地区BBS会 (ボランティア)
- 豊中青年会議所 (ボランティア)

新とよなか創政記

「借金の借換えに御用心」

豊中市は22年度に54億円の借換債を発行します。借換債とは「これまでの借金を借りなおす」もので、借金の残高が増えるものではありません。しかしながら、金利の見直しを迫られることになります。

たとえば住宅ローンで例えると、20年間で2千万円を10年間の固定金利2%で借入れたとします。元金は毎年100万円ずつ返済し、元金にかかる利息を加えて返済していきます。10年経過した折り返し地点で、借入残高は1千万円、残り10年間で返済していくことになります。ここで金利の見直しが行われますが、経済情勢の変化によって、10年固定金利が3%になると、利息負担が増加することになります。それを避けるため、より期間の短い固定金利にしたり、貯金があれば繰り上げて返済したり、金融機関を変えて借換えたりするのが、生活の知恵です。

金額 2,000万円
期間 20年 毎年100万円返済 (元金均等分割)
金利 当初10年間固定2%

1年目	豊中市は54億円	11年目	借換の金利が重要
借入	2,000~1,100万円	借換	1,000~0万円 (完済)

利息310万円
2%固定なら 利息110万円
利息で55万円の負担増加
3%固定なら 利息165万円

例示では借換金額が1,000万円ですから、金利1%上昇による利息負担の増加分は55万円になっていますが、54億円では2億9,700万円となります。

豊中市が54億円を借換える時に固定金利が0.5%上昇していると想定して試算すると、利息負担の増加分は1億4,850万円となります。

豊中市は20年間の借金が54億円で折り返し地点に来ており、借換えにあたって金利の見直しをしなければいけません。予算案では、54億円全額をこれまでと同様に10年間の固定金利で借換えることになっており、現在の金利情勢からすると、0.5~1%の範囲で金利が上昇し、利息負担が数億円規模で大きくなることになりました。

同じ金利条件でも元金が変わると支払利息は大きく変わります。

期間 10年間
返済 毎年100万円(元金均等分割)
金利 10年間固定2%

54億円を借換えた場合
利息 5億9,400万円
毎年の利息支払 5,940万円

33億円を借換えた場合
利息 3億6,300万円
毎年の利息支払 3,630万円

借換える元金を減らせば、10年間で支払う利息を2億3,100万円を減らせることになります。また、毎年の資金繰りも楽になります。

豊中市には減債基金といって、借金を返済するための貯金が21億円あります。そこで、私は54億円全額を借換えるのではなく、21億円を返済し、33億円の借換えにすることで、利息負担を軽減することを求めました。経済情勢で金利が高くなることは仕方ないとしても、元金を減らすことで支払う利息を減らし、血税を節約することができます。しかしながら、豊中市は減債基金から16億6千万円を繰入れて予算編成しており、21億円あるはずの貯金が5億円も残っていません。基金は使い道が決まっているので、減債基金は借金の返済に使わなければならないのに、16億6千万円は一般財源として人件費や公共事業などに使われます。9年間も赤字だった大阪府ですらとりやめた「減債基金」の繰入は、それだけ問題視されているにもかかわらず、豊中市はいまだに続けています。少なくとも16億6千万円は不足している豊中市の財政状況をよく見せているだけで、借金を将来へ先送りしていることに他なりません。

私の要求に対して豊中市は、借換債の発行で借入残高が増えるわけではないことを強調し、基金繰入を正当化するだけで、誠意ある回答を得ることはできませんでした。今年の予算編成を黒字にするためだけに、現在志向で財政運営をしていると、いつまでも経っても財政再建は実現できません。市民サービスをカットすることなく、財政再建をすすめるために支払利息を低減することは、行財政改革の一丁目一番地です。今後もひきつづき、借入基準金利の見直しや、より期間の短い固定金利への変更など、借入にあたって利息負担の軽減するために提言をしていきたいと思っています。

ポスティングのお願い

お住まいの向こう三軒両隣、マンションの集合ポストにこの温故創新を配布してください。お手伝いくださる方は左記までご連絡ください。よろしくお願ひ致します。



駅前街頭演説と議会で討論する様子

松岡のミカタを募集します

みなさんのご支援のおかげで、ここまで活動できました。ありがとうございます。これまで「清く、正しく、美しく」政治に取り組みたいという思いから、しがらみをつくってきませんでした。後援会活動もしてこなかったのです。実はどれだけの味方がいるのか把握していません。そこで、松岡を応援してくださる方は、ぜひご連絡ください。顔は知っているでも、名前も住所もわからないのでは、こちらからお声掛けすらできません。ミカタになつていただければ、皆さんと一緒に、よりよい豊中を創り、豊中から日本を動かしていきたいと思ひます。豊中市民の方はもちろん、他市在住、未成年、外国人の方でも嬉しいです。一人でも多くのミカタがいてくださると心強いです。よろしくお願ひ致します。

※ご意見感想をお聞かせください。

TEL:06-7178-7785 (携帯へ転送します)

FAX:06-6871-0632 (後援会事務所)

Mail:office@matsuoka-akimichi.net

※せっかくご連絡いただいても、ネット環境の不具合やFAXの印刷不鮮明などで、お返事できない方がいらっしゃいます。恐れ入りますが、一週間以内に返信がない場合、再度ご連絡いただければ幸いです。